

卓球部 活動報告

日時：2019年11月9日（土）

内容：SPC ジュニア（総和ピンポンクラブ ジュニア）主催の卓球教室

場所：古河市体育館

参加者：（SPC 側）代表 上竹節さん、以下、選手27名（小学生～中学生）

（岡本側）久保監督、吉野 HC、渡辺選手、阿久津選手、吉村選手、小口選手、黒川選手

SPC ジュニアについて：

茨城県古河市で活動している SPC ジュニアは代表の上竹さんが、卓球と出会った子供たちがたくさんの感動を体験し、大人になってからも生涯スポーツとして続けて欲しいという理念のもと平成10年に立ち上げられ、これまで数多くの有望選手が巣立っている団体です。

当社卓球部の吉村さん、小口さん、黒川さんも SPC ジュニア出身です。

活動報告：

上竹代表から参加選手の子供たちへ当社卓球部のご紹介をいただいたあと、監督の久保さんから皆さんへ「相手への礼儀、相手への思いやりを忘れず、安全に楽しみましょう」という挨拶で始まりました。





最初はデモンストレーションとして、当社卓球部の面々がラリーを披露。



スピード感のあるラリーや、スマッシュをレシーブする様など、高い技術を目の当たりにした子供たちから歓声が上がります。

いよいよ教室開始です。

今回参加している子供たちは、小学生低学年から中学校高学年まで幅広く、必然的に卓球のレベルもまちまちのため、事前に SPC 側と打ち合わせをし、子供たちをレベルごとに分けて教える方法を取りました。



保護者の方々や久保監督、弊員は球拾いで頑張りました。



卓球を始めて間が無い子供たちには、基本を教えます。

(写真は球から目を離さないことを教えています)



一通りの練習が終了した後は、実戦形式に入ります。

それぞれのレベルの中で、当社卓球部員とポイントを競い、勝てば上位卓へ、負ければ下位卓へ移動して試合を重ねます。



子どもたちと言えども、強豪の SPC で鍛えられている選手たち。目の色を変えて向かってくる子供たちに、当社の卓球部員が翻弄されるところもしばしば見られました。

ポイントを取って全身で喜ぶ子や、負けて悔しそうに拳を握る子など、真剣で濃密な時を皆で共有していました。

最後は参加した選手子供たちと記念撮影をして、教室は終了。



当社卓球部は今後もこのような機会をとらえ、卓球を通じて地域社会への貢献が出来るよう活動を続けて参ります。

以上